

だし丸くんレポート ～音楽文化振興事業～

音楽のあるまちづくりを

第2回 第1回講座「管弦楽アンサンブルコンサート」

〔平成28年4月16日土曜日、雁宿ホール講堂で開催〕



平成28年度音楽文化振興事業の第1弾として「ビギナーのためのクラシック音楽講座（ビギクラ）はんだ」を開催しました。この講座は平成24年度から続く人気の講座です。多くのリピーターの方はもちろん、初めて参加される方を含め100名以上の方が受講しました。講師はセントラル愛知交響楽団音楽主幹の山本雅士氏。演奏は、セントラル愛知交響楽団の主なパートより1名ずつの総勢13名による管弦楽アンサンブルでした。講師の興味深く楽しいお話。それは楽器の紹介から演奏曲目のエピソードと多岐に渡っていました。そして何より目の前で演奏をしてくださる楽団員の息遣いまで感じることができると素晴らしい生演奏。心満たされる素敵な時間となりました。「この曲知ってるー」という曲も演奏者を見ながら聴くことでとても新鮮な感じがしました。今回は13名の演奏でしたので、コンサートマスター（※1）が指揮者の役割をし

ていました。そこで指揮者の振り方で曲のテンポや曲想（※2）が変わる、というオーケストラの指揮者の重要性について講師からお話がありました。「どなたか指揮を振ってみませんか？」という問いかけに、榊原純夫市長が団員の前へ「ブラームス作曲の「ハンガリー舞曲第5番」のラストの部分、見事にタクトを振り大喝采でした。誰もが気軽にクラシック音楽を楽しむことができる

「ビギクラはんだ」。今後も雁宿ホールを始め様々な会場で、セントラル愛知交響楽団の方々が演奏や曲にまつわるお話などをしてくださいます。それぞれの事業の詳細は、半田市報や半田市HP、またチラシ等でご案内いたします。市民のみなさまと「音楽のあるまち」はんだを盛り上げていきましょう。



※1：チューニング（音合わせ）や演奏の細かなニュアンスを伝える等の役目を行う人。ヴァイオリン奏者のトップレベルの人。
※2：楽曲の構想

管弦楽アンサンブルの生演奏に仕上げたダシ丸くん！榊原市長もタクトを振ったダシ丸くん！！



防災 Memo

各地区で行われている防災訓練に参加しましょう

大きな災害に備えるためには、家庭内での備えをはじめ、となり近所の助けあいなど地域の連携が必要です。

防災訓練に繰返し参加することで、一人ひとりがいざという時の対応力を身につけ、地域の防災・減災力の向上を図りましょう。この様に備えに優る対策はありません。

- 情報収集伝達訓練
- 消火訓練
- 救出・救護訓練
- 避難訓練
- 炊出し・給水訓練
- 体験イベント型訓練（防災キャンプなど）
- 図上訓練（避難所運営訓練など）



●問合わせ 防災交通課 ☎84-0626